



# YA 本研究会だより

2018. 8  
VOL.3

…夏を制する者は、ピフリオバトルを制す！？…

うだるような暑さの中で、君に滴る汗にトキめく…そんな季節。いかがお過ごしでしょう。  
去る8/7(火)、第3回 YA 本研究会を開催いたしました。

夏休みにも関わらず、なかなかの出席率で、司書3人も勢ぞろい。

これは、長丁場になること必至(笑)

そんな中、若い衆の沈黙を破り、送り込まれた刺客がいる…

図書館を管轄する糸島市文化課の職員Oさんだ！

ただならぬ予感的中(笑)、チャンフまでかささらってしまう強者にございます！お見事～！

人も齢も幅広ければ、内容も多岐に渡る…それぞれの興味おもむくままに、超接戦に導いたラインナップはこちら↓

「世界一まじめなおしっこ研究所」 「この終末、ほくらは100日だけの恋をする」

「ダレン・シャン」 「糸島伝説集」 「探偵★日暮旅人の望む物」 「ヘタリ7」

「夢の終わりで、君に会いたい。」 「蛍・納屋を焼く・その他の短編」 「進撃の巨人」

「本当はこんなに面白い」「おくのほそ道」

映え映えしチャンフは…

「本当はこんなに面白い」「おくのほそ道」安田 登/著  
実業之日本社 2014.1 ¥762 所蔵:なし



## 《内容》

松尾芭蕉の名作「おくのほそ道」は、門人たちが楽しみながら読んでいた、ロールプレイングゲームのようなものだった。コスプレ、ジョブチェンジにパラレル・ワールド…。

当時の流行芸能「能」をキーワードに、「おくのほそ道」の面白さを紹介する。

## 《おすすめのポイント》

この発想にまず度肝を抜かれるが、実は完全ノンフィクションでないことにも驚き！！

RPGに付きものの使命だってちゃんとある。ボスキャラ「源義経の霊」を鎮魂すること。

このワクワク感！腕がなる～！教科書で習うのとは違う見方で「おくのほそ道」を攻略し、自分が主人公になって、旅を楽しめるはず！

…フレバト？ or 胸キュンスカッと！？…

夏草や 兵どもが 夢の跡…

ピフリオバトルもひとしきり、今回、本当の刺客の使命は、俳句を広めること。

おぬし、さては芭蕉の化身だな！？

俳句の醍醐味を教わったところで、実際に俳句作りにいそいそ YA 委員とアダルトチーム。

指折り数を数えては、奇跡の一句をひねり出そうと頭を抱えます。



調子づくると、次々に箱へ IN。どれどれ、ちょっと中身を拝見したならば…

そこには、こちらが赤面するほどの青春が散りばめられていました♡笑

みんなセンスもよくて大人顔負け！

これに味をしめ、俳句を嗜む粋な teenager になってほしいものです。

この俳句作りの行方は、後のお・楽・し・み★

代・わ・り・に A チームの俳句だけちょっと紹介しちゃいます(笑)

“待ちわびし あなたに会える 登校日”

“ソーダ水 はじけて気づく 恋心”

“ういういと 瓜売りに来て 売りました”

“柿食べば 腹が満たされ 満足じゃ”

“干し柿に おのれの姿 見る夕べ”



ちょっと青春に寄せてみたい(笑)、オチは大事！気ままにシャシ込んでみたい…でも、季語は忘れてないぜ！とばかりに、こちらも楽しませてもらいました！

…テーマ展示…

今回のテーマは「涼しくなるはなし」です。それぞれが独自の視点で選んだ、この暑さを吹き飛ばすにふさわしい…恐怖に、ヒヤッと感と爽快感を味わえる品揃えとなっております。

2F・YA 本展示コーナーにて、絶賛展示中！ぜひ、手にお取りください。



※夏バテには気をつけて！！

では、また See you next Battle！！